

児童虐待・事例検討会 2019

事例検討・事例解説・支援方針の立案・講義 グループスーパービジョン形式で行います

児童虐待には原因があります。それは母子間に愛着関係が成立していないことです。

愛着関係とは、母親が子の感覚や感情を我がことのように感じ、子が寒そうにしていれば母親も同じ寒さを感じ、子が美味しそうに食べていれば笑みがこぼれる、そんな母子の関係です。愛着関係があれば、母親は子の痛みを自分の痛みとして感じてしまうので、子を叩き続けることはできません。だから、**当たり前**に愛着関係がある「普通の家庭」では虐待は起こりません。

母子間の愛着関係が希薄だと、母子間の虐待が起こるだけでなく、母親が父子間の虐待を見逃したり容認してしまつて、父親（や他の家族）からの虐待も起こりやすくなります。

「児童虐待・事例検討会 2019」では、①参加者から提示された虐待事例、もしくは②講師・事務局から提示した事例を分析して、正しい「見立て」を作り、その土台の上に具体的な援助・支援方針を立案していきます。実際には、次のような手順で解析を行います。

1. **母子間に愛着関係は成立しているか、否か**を検討する。(実母が不在の場合、主たる養育者と子の間、実父との間、継母や継父との間、祖父母との間ではどうか、これらも同時に検討する)
2. **愛着関係不成立の原因は何か**を検討する。①多くの場合は実母の「**軽度**」知的能力障害が原因ですが、他にも②父親の発達障害・精神障害や、③**母親の被虐待体験**などが愛着関係の問題（困難さ）を引き起こしています。
3. **愛着関係の不成立がどのように虐待につながったか**を具体的に検討する。①母子の間、②父子の間、③同居者と子との間など、虐待内容・経過を**家族成員間の力関係**から分析する。

これら3段階の解析ができて初めて、虐待事例に対する有効な援助・支援方針を立案することが可能となります。虐待の事実だけを確認して**一時的な母子分離**を実施したとしても、母親の発達障害（「軽度」知的能力障害）を見逃していれば、母子の再統合が行われた時に再び同じ虐待が繰り返されてしまいます。また、母親に被虐待体験による心的外傷があることを見逃していれば、母親に対して良かれと思って行った援助・助言等の支援が母親を追い詰めていく結果になり、支援者との関係が途切れてしまいます。

事例検討会では、

- A. 上記のようなステップに沿って個々の事例を検討し、**見立てを確定し、援助・支援方針を立案**します。
- B. 必要に応じて、**児童虐待を理解するための講義**（愛着関係について、「軽度」知的能力障害について、被虐待体験をもった母親の心的外傷について、被虐待児の心理＝反応性愛着障害および誤解されやすい疾患について）を実施します。
- C. 母子間の愛着関係を再構築するための**カウンセリング（心理・精神療法）の方法**を助言します。

※ 事例を参加者から募集します。

- ①メモ / 文書での提供の場合、事務局が責任を持って印刷・配布・回収・破棄をいたします。また、②口頭での事例提供や、③その場での質問という形でご提示いただくことも可能です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

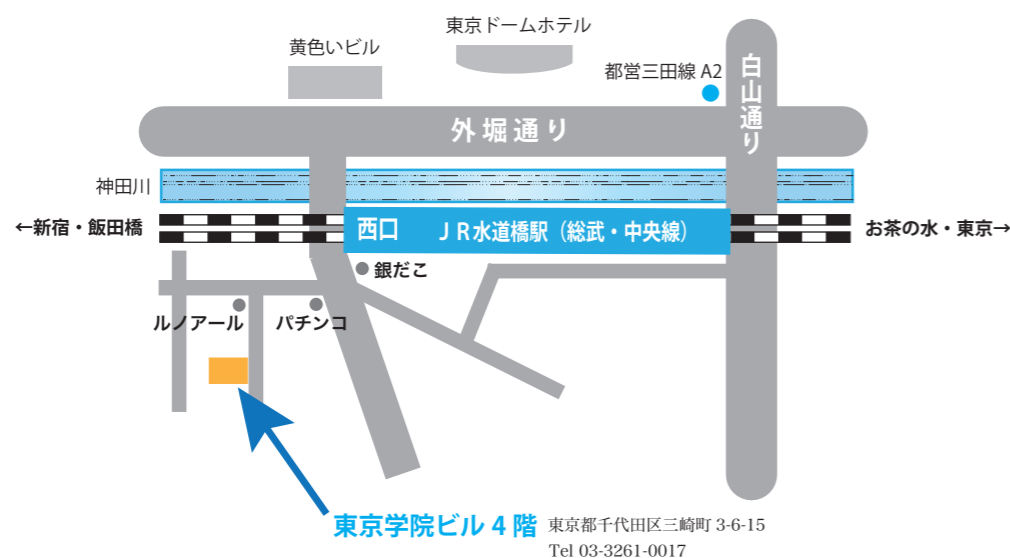
- 講師 高橋和巳（精神科医） / スーパービジョン & 講義
- 日時 偶数月の日曜日 14:30 ~ 17:30 全6回
2019年 4/14 6/9 8/11 10/6 12/8 2020年 2/2
- 場所 東京学院ビル 4階教室（JR水道橋駅西口徒歩1分）
- 定員 40名（先着順）
- 参加費 全6回 30,000円
- 参加申込受付開始 2019年3月11日（月）

講師紹介

- 高橋和巳 精神科医 医学博士 風の木クリニック院長
 - 大学では睡眠脳波の解析、脳機能マッピングなど**脳科学研究**を行った。
 - 長く**都立松沢病院**に勤めて統合失調症などの精神科一般の診療の他、精神科救急病棟・急性期病棟・アルコール専門外来などを担当した。
 - 松沢病院精神科医長を退職後は2004年に**風の木クリニック**（千代田区麹町）を開院し診療している。クリニックでは一般の精神科診療の他に、虐待問題に関係するものとして、以下のような治療を行っている。
 1. **幼少時に虐待を受けた人の診療**（幼少時の心的な外傷が成人してから、反復性うつ病＝燃え尽き症候群・解離性障害・パニック障害や非定型な摂食障害などとして現れる）
 2. **「被虐ママ」の診療・カウンセリング**（産後うつ、子育て不安）
 3. **被虐待者の心理カウンセリング・ケースワークの助言**（専門家向け）
- 児童虐待問題の教育、心理カウンセラーの教育に取り組んでいる。
 1. **「児童虐待防止 支援者のための講座」** 定期開催
 2. **「HCM カウンセリングセミナー」** (<http://hcm-seminar.net>) 定期開催
- 都内の保健センター・子ども家庭支援センターなど数カ所虐待事例のグループスーパービジョンを行っている。
- 著書に『「母と子」という病』(ちくま新書)
『消えたいー虐待された人の生き方から知る心の幸せ』(ちくま文庫)
『子は親を救うために「心の病」になる』(ちくま文庫)
『心を知る技術』(筑摩書房) 『人は変われる』(ちくま文庫)
『新しく生きる』(三五館) 『わたしは「悪い子」?』(学習研究社) など多数がある。
- 精神保健指定医 / 日本精神神経学会精神科専門医 / 日本睡眠学会睡眠医療専門医

会場 東京学院ビル 4階

JR水道橋駅 西口1分



●●● 児童虐待防止支援者のための講座 事務局 ●●●

E-Mail group_stop_gyakutai@yahoo.co.jp

Tel 090-2653-1892